

大和を掘る！ 最新の発掘調査をふまえて論考！

考古学を中心に、文献史学、人類学、民俗学、建築史学、
岩石学など、周辺分野の専門家を交えた学際的な執筆陣！

橿原考古学 研究所論集

発掘調査の最前線

第16

奈良県立橿原考古学研究所 編

創立 75 周年記念論集

2013 年 12 月 10 日刊行【5 年毎刊行・定期予約も受付いたします】

■ A4 判 ■ 352 頁 ■ 上製本 ■ カバー装 ■ ISBN978-4-8406-2600-2 C3320
■ 定価 18,900 円（本体 18,000 円 + 税 5%）

目次

カラー口絵 箸墓古墳・西殿塚古墳 赤色立体地図
末永雅雄・秋山日出雄・網干善教・菅谷文則・藤井利章
舒明天皇陵・天智天皇陵・天武持統天皇陵外形調査概報
渡辺 誠 弥生時代の人面装飾付土器
北井 利幸 近畿地域の鎔銅技術の基礎的研究（I）
西藤 清秀 箸墓古墳・西殿塚古墳の墳丘の段構成につ
いて
光谷 拓実 奈良県内所在の前期古墳出土木棺材の年輪
年代
関川 尚功 古墳時代前期の和泉砂岩製石棺
田中 晋作 京都府桂川右岸地域に投影された政権中枢
勢力の動静
泉森 皎 畝傍山と周辺の古墳の性格
茂木 雅博 常陸発見の古墳時代繊維について
角山 幸洋 経錦再考
岡林 孝作 古墳出土鏝の使用法
木許 守 古墳時代の須恵器流通についての一考察
—播磨地域の事例検討から—
片山 一道 藤ノ木古墳人骨再考
—南側被葬者は男性である—
白石太一郎 太秦蛇塚古墳の造営時期
—前方後円墳の造営停止時期に関連して—
相原 嘉之 飛鳥寺北方域の開発
—7 世紀前半の小墾田を中心として—

東野 治之 法隆寺金堂薬師像の光背銘と天寿国繡帳の
銘文—その史料性格をめぐって—
松田 度 王権のカンナビ—「吉野宮」の成立背景—
入倉 徳裕 藤原京条坊の精度 II
—藤原京条坊の最適方格について—
前園実知雄 唐招提寺金堂の創建時期について
佐々木好直 大和国における奈良時代以後の墓
黒田 龍二 発掘遺構からみる神社の成立
米川 仁一 丹生川上神社の所在地問題について
田中 久夫 金剛山の法起菩薩と役小角と修験道
本村 充保 半球形瓦器碗の成立とその背景
奥田 尚 大和における中・近世石造物の石材産地と
その分布
森下 恵介 奈良奉行と寺社の「宝物」
橋本 裕行 温泉考古学事始め
井上 主税 新羅出土の角杯について
—日本列島出土品の源流を探る—
妹尾 達彦 隋唐長安の交通と城内外の土地利用
清水 康二 鏡と六博
樋口 隆康 シルクロードの樋口コレクションについて
泉 武 民俗行事にみる集落の領域表象
池田 淳 年預の翁詞章の伝来

付載：奈良県立橿原考古学研究所 5 年間の主な歩み

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-8 TEL 03-3291-2961 FAX-6300
<http://www.books-yagi.co.jp/pub>【詳細書誌情報有】*消費税込みの総額表示です

既刊 2 冊の目次

【既刊】 橿原考古学研究所論集 第 14 奈良県立橿原考古学研究所 編

■ A5 判 ■ 744 頁 ■ 定価 18,900 円 (本体 18,000 円 + 税 5%) ■ ISBN4-8406-2081-4 C3320

ミヤケ、都城制、古代寺院、服飾等、注目されているテーマについて多彩な論考 32 本を収録

樋口隆康 社稷の起源／松田真一 縄文文化確立期における石器組成の地域性／渡辺 誠 もっとも細かい網代の圧痕／石野博信 1950 年代、縄文・弥生移行期の研究／角山幸洋 出土織物の織幅から貫頭衣の構成へ／柳田康雄 短身銅矛論／清水眞一 大和の弥生時代方形周溝墓と台状墓／松井一晃 弥生土器における赤色塗彩の展開／菅谷文則 三角縁神獸鏡の出土傾向／東 潮 韓と倭の馬形帯鉤／茂木雅博 前方後方墳の埋葬施設／坂 靖 倭屯倉の成立過程をめぐる一試論—伴堂東遺跡とミヤケ—／水野敏典 古墳時代中期における鉄鏃の分類と編年／北山峰生 石製模造品生産・流通の一形態／木許 守 鉄地金銅装飾円形鏡板の性格／小栗明彦 近畿地方古墳出土銅鏡と被葬者／青柳泰介 「大壁建物」再考／勝部明生・鈴木勉 藤ノ木古墳出土馬具の源流を辿る／直木孝次郎 河内の渡来人と古代国家／服部伊久男 宮宅と古代寺院の構造／平田政彦 斑鳩地域における飛鳥時代寺院の一樣相—法輪寺創建年代私考—／濱口芳郎 西田中遺跡と古代の造瓦所／網干善教 「頤頤」を表現する図像について—キトラ古墳壁画の朱雀図に関連して—／竹田政敬 藤原京の宅地—班給規定と宅地の実相—／井上 薫 智努王の珍努宮と元正天皇の和泉宮／大西貴夫 菅原寺及び周辺出土の瓦からみたその造営背景／奥田 尚 高野山の石造物の石種／平山敏治郎 遠国奉行の勤め方ほか—「寧府記事」抄／岡林孝作 南朝皇帝陵の再検討—石獣の編年を中心に—／寒川 旭 古墳に刻まれた地震の痕跡／田中久夫 胞衣覚書／吉田裕彦 方位名称と方位観—西部オーストロネシア語派諸民族の空間認識について—

【既刊】 橿原考古学研究所論集 第 15 奈良県立橿原考古学研究所 編

■ A5 判 ■ 806 頁 ■ 定価 21,000 円 (本体 20,000 円 + 税 5%) ■ ISBN978-4-8406-2082-6 C3320

武器に残る使用痕から探る弥生社会、木簡からみた上代語、中国や朝鮮半島を含む東アジアの諸問題、古墳に残された骨から探る性別、さらに近世城郭など、重要なテーマを扱った多彩な論考 37 本を収録

樋口隆康 海獣葡萄鏡の海獣とは／渡辺 誠 人面裝飾付浅鉢形土器類について／奥田 尚 縄文時代と弥生時代の石器石材の比較—橿原遺跡と唐古・鍵遺跡の石材の比較を中心として—／柳田康雄 青銅武器・武器形青銅祭器の使用痕／佐々木好直 芝、坪井・大福両遺跡出土土器の再検討／橋本裕行 「イノシシ」からシカへ—兵庫県神戸市神岡(桜ヶ丘)4号銅鐸B面上左区の図像再考—／長谷川義明 竪穴住居の火災原因に関する一試論—奈良県内の事例を中心に—／川部浩司 四国北東部地域の壺形埴輪／岡林孝作 竪穴式石室の成立過程／水野敏典 古墳時代前期柳葉式鉄鏃の系譜／北山峰生 出現期滑石製品の位置と古墳編年／石野博信 「空棺」—棺内土砂充填葬—／茂木雅博 石棺室考／中野 咲 「韓式系土器」分布論の現状と課題／河上邦彦 菓山古墳出土の船形木製品の復元と意義／泉森 皎 奈良県馬見丘陵の土地利用—特に馬事文化との関わりについて—／東影 悠 尾張系埴輪の製作技術と生産体制／安永周平 裝飾付ガラス玉研究序論／関川尚功 横穴式石室における二棺並列葬とその系譜／白石太一郎 叡福寺古墳の再検討／東野治之 飛鳥時代木簡と上代語／直木孝次郎 摂津国の成立再論／入倉徳裕 藤原京条坊の精度／森下恵介 平城京内宅地の建物遺構／平松良雄 尾張妙興寺考—その考古学的検討—／黒田龍二 中世神社祭祀の場の形態—滋賀県西浅井町塩津遺跡 2006 年度調査における石組遺構と礎石建物—／森岡秀人 築城石・石切場と切石規格化をめぐる一試考／青柳泰介 古代東アジアにおける横穴系主体部の閉塞方法について／重見 泰 三国統一期における新羅の土器様相／菅谷文則 唐墓出土木製馬俑考／清水眞一 大神神社・三ツ鳥居考／田中久夫 加古の沙弥教信の首面と弾誓上人の仏頭伝授／泉 武 沖縄の民俗にみる家焼き／鈴木 勉 古代史における技術移転試論Ⅱ—文化と技術の時空図で捉える四次元的技術移転の実相—／片山一 道・森本直記・中島雄二・日下宗一郎 新堂見尾 1 号古墳被葬者人骨の形態学的分析／岡 幸二郎 高松塚古墳解体とその疑問—取戻せるか国宝と特別史跡—／寺澤 薫 「農業共同体」覚書

※既刊 1 号から 13 号までは吉川弘文館が発行元となっております。

在庫等のお問い合わせは吉川弘文館へ直接連絡下さいますようお願いいたします。

申 込 書	2013 年 12 月刊行・八木書店刊行 かしはら 橿原考古学研究所論集 第 16 定価 18,900 円 (本体 18,000 円 + 税 5%)		取扱店 (番線印)
	お名前 (ふりがな)	TEL	
	ご住所 〒	FAX	
		E-MAIL	